

## 5 学年題材指導計画

# いろいろな音の重なりを味わおう（6 時間扱い）

### 1. 題材のねらい

声や音が重なり合う響きを感じて聴いたり，演奏したりすることに慣れるようにする。  
旋律と低音の響きや和音の響きの変化を感じ取って聴いたり，表現したりすることができるようにする。

### 2. 教材について

#### (1) 山のひつじかい（ドイツ民謡）

《学習指導要領との関連》A(1)ア，A(1)イ，A(2)イ，A(3)イ

♩のリズムが多く使われているが，全体的には伸びやかさが感じられる明るい曲である。リコーダーでの演奏がしやすい音域の楽曲である。の主旋律は，唯一 4 小節目の最後にサミングを使うだけであり，の旋律はレ～ソの低めの音域なので，息のスピードをコントロールして演奏するようにしたい。また，の低音部が加わると，その響きがさらに重厚なものになることを感じ取ることができる。3つのパートに分かれて演奏して，3つの音の響き合いを感じ取るようにしたい。

#### (2) 静かにねむれ（武井 君子作詞 フォスター作曲）

《学習指導要領との関連》A(1)ア，A(2)イ，A(3)イ，A(4)ア，B(1)ウ

原題は「主人は冷たい土の中に」という曲である。主人を失い，別れを惜しんでその場にぬかずく家人の心情を歌ったものである。その原曲の趣を生かした歌詞によって，曲の持つ味わいを伝えている。

緩やかな起伏のある旋律は，情感をもって歌ったり演奏したりしやすい。この旋律のほとんどは，1 小節 1 和音の形を中心に構成されているので，和声の響きやその変化を感じ取りながら，旋律と和音のかかわりを理解するのに適している。「山のひつじかい」で学習したことを活用し旋律に合う低音の音を探したり，自分で旋律に合う伴奏の和音を見つけたりする活動を通して，和音に対する関心を深めるようにしたい。

#### (3) ハンガリー舞曲第 5 番（ヨハネス・ブラームス作曲）\*オーケストラ鑑賞会演奏曲

《学習指導要領との関連》B(1)ア

いくつかのテレビのCMでも取り上げられた子どもたちにも親しみやすい鑑賞曲である。短調で構成される部分と長調で構成される部分が対照的で，それぞれの旋律の特徴をとらえやすい。オーケストラの演奏で聴かせることで，それぞれの旋律の特徴を生かした楽器の組み合わせや演奏の仕方のよさを味わわせたい。

#### (4) 交響曲第 9 番 ホ短調 作品 95 「新世界から」より

第 4 楽章（アントニン・ドヴォルザーク作曲）\*オーケストラ鑑賞会演奏曲

《学習指導要領との関連》B(1)ウ

この楽曲は，“新大陸”アメリカに古くから伝わる素朴なアメリカ・インディアン民謡や黒人霊歌から受けた新鮮で強烈な感動をもとに作曲された曲である。この第 4 楽章は，第 1 楽章の第 1 主題，第 2 楽章の主要主題，第 3 楽章のスケルツォ主題といった全曲の主な楽想が登場している。身近で聴くオーケストラの演奏により，いろいろな楽器の組み合わせによる音色や響きの変化を聴き比べるようにしたい。

### 3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
--	--------------------	--------------------	---------	---------

題材の評価規準	音の重なり合う美しさに関心を持ち、進んで聴いたり表現したりしようとしている。	旋律に低音部や和声をつけたり重ねたりして多様な表現の工夫をしている。	音を組み合わせ、低音部や和音伴奏を付けて演奏している。	オーケストラによる演奏に親しみ、音色の異なった様々な楽器がかかりあったり溶け合ったりして生まれる多彩な響きの美しさを感じ取って聴く。
学習形態における具体的な評価基準	<p>情景を想像しながら範唱CDを聴こうとする。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 歌詞の内容を意識 積極的な発表 低い音を表す楽譜の読み方に関心をもって取り組んでいる。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 音階表を使用せず、スムーズな読譜 友達への積極的なかわりやアドバイス 和音の構成を知り、主旋律に合った和音伴奏をつくらうとしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 主旋律と和音の響きの調和 積極的な取り組み 自分の創作の響きの確認 主旋律を口ずさんだり身体表現をしたりしながら、進んでオーケストラの演奏を聴こうとしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 積極的な聴き取り 楽器の種類への関心</p>	<p>主旋律と低音部の響き合いを感じながら、主旋律を生かす工夫をしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 強弱や音量のバランスへの気付き 曲の山を意識 主旋律を聴きながら、和音伴奏を工夫している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 主旋律に合った伴奏の工夫 和音伴奏の形の工夫</p>	<p>正しい音程で階名視唱している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 初見での階名視唱 移動ドでの階名視唱 フレーズを意識して、旋律楽器で主旋律を演奏している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 リコーダーのスムーズな演奏 友達への積極的なアドバイス 主旋律を聴きながら、それに合う低音の伴奏をつくっている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 二部音符の導入 へ音記号の楽譜への正しい記譜 和音伴奏を入れ、工夫して演奏している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 和音伴奏の形の変化 楽譜どおりの演奏</p>	<p>主旋律と和音伴奏の響き合いを感じ取り、友達の演奏のよいところを見つけて聴いている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 積極的なアドバイス 音量のバランスへの気付き オーケストラによる演奏の豊かな響きを味わって聴く。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 自分の思い描く情景をことばで表現 楽曲の対照的な部分の聴き取り 楽器のそれぞれの響きの聴き取り</p>

4. 指導と評価の計画（6時間扱い） : 取り扱い項目 : 取り扱い重点項目

時	主な学習内容	具体的評価規準	指導要領との関連	内容のまとまりとの関連				評価方法等
				歌唱	器楽	創作	鑑賞	
	【山のひつじかい】 主旋律を階名視唱したり演奏したりする。							歌唱聴取 器楽演奏 学習カード

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範唱を聴いて，主旋律の感じをつかむ。</li> <li>・ 階名で主旋律を歌う。</li> <li>・ <b>音程を確かめながら，階名視唱をする。</b> リコーダーで主旋律を演奏する。</li> <li>・ 音や運指を確かめながら，丁寧に2小節ずつ練習する。</li> <li>・ テンポを速めて，フレーズを意識して演奏できるように練習する。</li> <li>・ の旋律と主旋律に分かれて練習する。</li> <li>・ 曲が二部形式でできていることに気付く。</li> </ul>	<p>ア -</p> <p>ウ -</p> <p>ウ -</p>	<p>A (1)ア</p> <p>A (1)イ</p> <p>A (3)イ</p>		<p>行動観察</p>
2	<p>低音のパートを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヘ音記号の意味を知り，書き方を練習する。</li> <li>・ <b>ヘ音階表を参考にして，ヘ音記号の楽譜を階名で楽譜に書き込んだり読んだりする。</b></li> <li>・ 低音パートを視唱する。</li> <li>・ 鍵盤ハーモニカで拍の流れにのった演奏ができるようにする。</li> <li>・ フレーズを意識して低音パートを演奏できるように練習する。 (主旋律)と(中音域)と(低音部)の3つのパートに分かれて，合奏する。</li> <li>・ リコーダーと鍵盤ハーモニカの音色の特徴を生かし，響き合いを感じ取りながら演奏する。</li> <li>・ 三部合奏をする。</li> </ul>	<p>ア -</p> <p>ウ -</p> <p>イ -</p>	<p>A (1)イ</p> <p>A (3)イ</p> <p>A (2)イ</p>		<p>学習カード 歌唱聴取 演奏聴取</p>
3	<p><b>【静かにねむれ】</b> 曲想を感じ取って主旋律を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情景を想像しながら範唱を聴き，感想を発表し合う。</li> <li>・ 音程を確かめながら，範唱に合わせて主旋律を歌う。 主旋律に合う低音の伴奏をつくる。</li> <li>・ <b>2～3人組になって，主旋律を演奏したり歌ったりして，響き合う低音の伴奏をつくる。</b></li> <li>・ 友達と交代しながら伴奏づくりをする。 演奏して発表する。</li> <li>・ つくった低音の伴奏を，主旋律に合わせて発表する。</li> <li>・ 互いに演奏を聴き合い，響き合っているところやよいところを見つける。</li> </ul>	<p>ア -</p> <p>ウ -</p> <p>エ -</p>	<p>A (1)ア</p> <p>A (4)ア</p> <p>B (1)ウ</p>		<p>歌唱聴取 感想発表 演奏聴取 学習カード</p>

4	<p>低音の伴奏と和音による伴奏の違いを聴き比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が範奏し、聴き比べる。</li> <li>・響きの違いに注意して聴く。和音の構成を知る。</li> <li>・ , , の和音の響きを理解する。</li> <li>・鍵盤ハーモニカで、和音の音を一音ずつ重ねて演奏し、和音の響きについて感じたことを発表する。主旋律に合う和音伴奏をつくる。</li> <li>・主旋律に合わせて、1 段目の和音伴奏をつくる。</li> <li>・工夫した和音伴奏を発表する。</li> </ul>	イ -  イ -  ア -	A (2)イ  A (2)イ  A (4)ア				行動観察 演奏聴取 学習カード 発表
5	<p>「静かにねむれ」に和音伴奏を入れて工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3～4人ずつのグループで和音伴奏を工夫する。</li> <li>・曲全体に歌に合う和音伴奏を工夫する。</li> <li>・一人ずつ考えを持った上でグループの工夫を決定するようにする。演奏の練習をする。</li> <li>・合奏や歌と演奏など演奏形態を工夫したり、使う楽器を工夫したりして練習する。</li> <li>・和音伴奏のリズムや音量のバランスなども工夫して練習する。自分たちのつくった伴奏で演奏する。</li> <li>・自分たちの工夫したことを生かして演奏する。</li> <li>・友達の演奏を聴いて、よいと思ったところや工夫しているところをお互いに見つけて発表する。</li> </ul>	イ -          ウ -  エ -	A (2)イ          A (3)イ  B (1)ウ				行動観察 演奏聴取 発表
6	<p>【ハンガリー舞曲第5番】 【交響曲第9番新世界より第4楽章】 オーケストラの生演奏を聴き、色彩豊かな響きを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通して、曲想を感じ取る。</li> <li>・曲全体の感じに気を付けながら聴く。</li> <li>・曲の演奏に合わせて指揮をするなど身体表現をしながら聴く。</li> </ul>	ア -  エ -	B (1)ア  B (1)ウ				行動観察 学習カード